

第5回丘珠空港機能強化検討会 議事概要

日 時：令和5年6月15日（木）11：00～11：50

場 所：TKP札幌カンファレンスセンター ホール6A

出席者：委員19名、札幌市（事務局）4名、オブザーバー1名

1 開会

(1) 挨拶（札幌市 天野副市長）

- ・ 検討項目も多岐に渡り、短期的に対応が必要なものと、中長期的に考えていかなければならないものなど様々あるが、皆様から忌憚のないご意見をいただき、整理させていただきたい。
- ・ 札幌市としては、当検討会で取りまとめた様々な課題と対応の方向性をもとに、今後も関係の皆様と緊密に連携させていただき、具体的な協議や検討を進めさせていただきたい。
- ・ 将来像に示す滑走路延伸を含む各種機能強化策の早期実現に向けて、空港整備を所管されている国土交通省におかれては、事業化に向けた調査・検討等について前向きに検討を進めていただくなど、関係の皆様には引き続きご協力いただけるよう、お願い申し上げます。

2 議事

(1) これまでの検討会で議論した課題等の共有・整理（まとめ）

- ・ 今回は、これまでの検討会のまとめという位置づけであるため、全体を通して、確認・報告したいことや新たに現在取り組まれていることなど、ご発言をお願いしたい。

<今後の増便に伴う対応>

- ・ 丘珠空港は地域にとって重要な空港であると認識しているため、将来像の実現に向け、可能な限り対応できるよう、管制の体制や自衛隊の訓練時間の確保について、しっかりと検討していきたい。
- ・ 直近の増便に伴う搭乗待合室の整備については、6月中に完了する予定であり、利便性の向上はもとより、エアライン搭乗の使い勝手の良さ、安全や保安の担保もしっかりと行っていきたい。
- ・ エアライン、丘珠駐屯地、丘珠空港事務所などを中心とし、運航計画の変更などを継続的かつ持続的に協議ができる空港運用協議会のような仕組み作りが非常に大切であり、今後の課題と考えている。
- ・ 細かな調整事項や課題等を含め、基本的にエアラインは夏ダイヤ・冬ダイヤと毎年計画が変わっていくため、その都度、発生しうる課題に対しては、民航の運航計画、自衛隊の訓練計画や除雪など、全てが成立するかたちを目指して柔軟な対応を継続していきたい。

<滑走路延伸前延伸後における除雪体制の課題>

- ・ 空港の除雪に関して、滑走路が延伸されると除雪の面積が増加するため、防衛省とも協力しどのようにして除雪体制を強化していくのか、また、除雪機材の計画的な更新も必要になってくるので、状況をしっかりと踏まえ、防衛省と連携し検討していきたい。
- ・ 除雪については、機材はもとより人員の確保も重要な課題であると考えているため、国土交通省及び現地部隊と丁寧に調整していきたい。

<空港ターミナルビル機能強化>

- ・ 民航エリア、特にターミナルビルの機能強化について、丘珠空港にいる事業者も含め、関係者に対し、現状や今後の事業計画に関するヒアリングを近々に行っていく考え。
- ・ ターミナルビルの機能強化をどのようにするのか、それをいつまでに決めるのかという点が非常に悩ましい課題であり、簡単に結論を出すべき課題ではないと思うが、先行して検討していく方が多方面の検討がスムーズにいくのではないかと考えている。

<新千歳空港との役割分担及び空港運営体制>

- ・ 新千歳空港との役割分担について、道内航空ネットワークとして、いかにして周遊させていくのかについて、今後も検討していきたい。また、北海道の魅力を道外に発信していくことについても、今後は注力していきたい。
- ・ 道内航空ネットワークの充実・強化に向けて、誘致や需要創出の面で皆様と協力し、しっかりとやっていきたい。

<全体を通して>

- ・ 滑走路延伸については期待が高い部分であると認識しており、国としても今後の対応について検討していきたい。
- ・ 将来像において滑走路延伸というのは最も重要なポイントの一つであるため、前向きな検討をお願いしたい。
- ・ 滑走路延伸については、一定の時間が掛かるとは思うが、様々な取組・機運の高まりに対して、時間による変化というのが一番のリスクだと思われるため、できる限り時間を掛けずに進めていただきたい。
- ・ 課題に関してはかなり整理が進んだことから、今後は各機関で具体的な検討、調整を行うとのことであるが、次回の検討会に向けて、時間軸を意識した整理が必要だと考える。
- ・ まずは課題を全て洗い出すことを目標としていたが、次のステップとしてタイムテーブルに落とし込むことも早めに進めていただき、関係者間で共有できることが望ましい。

(2) その他

<今後の進め方について>

- ・ 本日の検討会で出された意見も踏まえ、事務局の方で整理させていただき、改めて国の関係機関にも説明させていただきたい。
- ・ 今後の検討会としては、時間軸について整理しなければならないため、プライオリティがどこにあるのかも含め、皆様と共有し進めていきたい。
- ・ 少し整理が進んだ段階で、再び検討会を開催したいと思っており、本検討会のような連携の枠組みをしっかりと維持していきたいと考えているので、よろしくをお願いしたい。

以上